

## 平成18年度当初予算 施策別概要

### 224 農林水産業を支える技術開発の推進

(主担当部局：総合企画局)

- 22401 農業を支える技術開発の推進 (総合企画局)
- 22402 畜産業を支える技術開発の推進 (総合企画局)
- 22403 林業を支える技術開発の推進 (総合企画局)
- 22404 水産業を支える技術開発の推進 (総合企画局)

#### < 施策の目的 >

(対象) 農林漁業者が

(意図) 開発された技術を有効利用して生産活動を行っている

#### < 施策の数値目標 >

目標項目		H15年度	H16年度	H17年度	H18年度
県試験研究機関が開発した技術による農林水産物の作付面積・生産量等の伸び率(%)	目標値	-	180	190	200
	実績値	174	197	105	

水稻の県育成品種の県内水稻作付面積におけるシェア(%)、県内産和牛枝肉の上物率(%)、ヒラタケ・ハタケシメジの生産量(t)、耐病性アコヤ貝の生産量(万個)の基準年(2002年度)を100とした場合の伸び率の平均値

#### < 平成18年度に残っている課題 >

農林水産業は、厳しい国際競争、産地間競争の中にあり、全国的に有名な「三重ブランド」の維持、発展のための技術開発や競争力のある産品や加工品などの技術開発が求められています。

地球環境の変化や生産環境の変化によって、三重県の特産品が減少したり、品質が低下したりしています。また、鳥獣害の増加のため、生産を維持できない事例も起こっています。このため、三重県の農林水産業を、持続的、安定的に維持するような研究開発が求められています。

農林水産物に関して、消費者の食の安全・安心に対する関心が高まっています。このため、生産者サイドにおいても、食の安全をさらに推進する技術開発へのニーズが高まっています。

農林水産業の持つ多面的機能を維持しながら、地域の産業として維持・発展させるため、農林水産業から排出される環境への負荷をさらに減少させるとともに、循環型社会の実現に貢献できる技術開発が求められています。

#### < 平成18年度の施策の取組方向 >

産地間競争力を高めるため、新しい養殖魚種マハタのブランド化を目指し、種苗の大量安定生産技術の開発を進めるとともに、松阪牛、伊賀牛などについて、他産地の追随を許さない産地ブランドとして、更なる品質向上技術の開発を進めます。また、酒造好適米品種の有望品種の絞込みと実規模での酒造試験にも取り組みます。

農林水産物を持続的、安定的に生産するため、近年の県産米の品質低下要因を総合的に解析し、生産環境の変動に対応できる栽培技術体系を開発するとともに、ニホンジカによる森林被害の実態を明らかにし、被害を防除する技術を開発します。

食の安全、安心の確保のため、葉菜類に含まれる硝酸塩の実態調査と低減化技術開発を進めます。  
環境負荷軽減、資源循環型社会への貢献のため、家畜ふんたい肥の水田への利用と食品製造副産物の飼料利用を組み合わせ、飼料イネの高品質化と栄養価の向上を図り、普及に向けた技術を開発します。

<主な事業>

(重)「三重のマハタ」高品質・早期安定種苗生産技術開発事業費【基本事業名：22404 水産業を支える技術開発の推進】

当初予算額： 11,772千円 11,772千円

事業概要：新しい養殖魚種「マハタ」の高品質種苗の大量安定生産技術を確立するため、生残率の向上、形態異常魚対策、ウィルス病対策の課題解決に取り組みます。

(重)肉牛の産地間競争力の賦与技術の開発費【基本事業名：22402 畜産業を支える技術開発の推進】

当初予算額： 3,000千円 3,000千円

事業概要：県内産和牛の肉質について、脂肪質（脂肪酸組成、脂肪融点）の観点から分析し、血統や飼養管理による脂肪質の差異を明らかにし、肉牛生産者に改善点を指導します。

新しい三重の酒造好適米品種の育成と地域特産化事業費【基本事業名：22401 農業を支える技術開発の推進】

当初予算額： 3,692千円 1,920千円

事業概要：酒造適性に優れた一般酒向け酒造好適米の育成要望に応えるため、現在保持している有望な酒造好適米系統の実用規模での酒造適性の検討ならびに栽培適性の検討を行い、三重県産の地域特産酒を開発し、県産日本酒の品質向上と消費量の拡大を図ります。

(新)環境変化に負けない高品質米生産技術の再構築事業費【基本事業名：22401 農業を支える技術開発の推進】

当初予算額： - 千円 4,222千円

事業概要：米の品質低下要因を気象環境、土壌環境の両面から総合的な解析を行い、高温気象の出現や地力変化に適応した高品質コシヒカリの栽培技術を開発するとともに、現地での実証試験を行い、技術体系を組み立てます。

(新)ニホンジカによる森林被害の防除に関する研究事業費【基本事業名：22403 林業を支える技術開発の推進】

当初予算額： - 千円 5,000千円

事業概要：林業および森林生態系に与えるシカの影響を明らかにし、効果的な侵入防止柵を開発等、被害を防除する技術を開発し、林業振興ならびに森林生態系の保全に貢献します。

葉菜類における硝酸塩低減化技術の開発費【基本事業名：22401 農業を支える技術開発の推進】

当初予算額： 2,372千円 1,500千円

事業概要：ナバナ、モロヘイヤ等の県内主要葉菜類について、硝酸塩の含有量の実態を明らかにするとともに、低減化技術を開発します。

(新)耕畜連携による粗飼料生産と乳牛への給与技術の開発費【基本事業名：22402 畜産業を支える技術開発の推進】

当初予算額： - 千円 4,000千円

事業概要：家畜ふんたい肥の水田利用と食品製造副産物の飼料利用を組み合わせ、水田で生産される飼料イネの高品質化と栄養価の向上を図り、自給粗飼料多給型乳牛飼養技術を開発します。